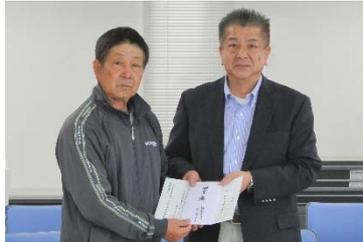




○七ヶ浜のりを応援！「のり養殖応援募金※」をお届けしてきました。

4月24日(水)、RSYで呼びかけをさせていただきました「のり養殖応援募金」を宮城県漁協七ヶ浜支所にお届けしました。おかげさまで418,000円ものご厚志をお預かりし、栗田代表理事から海苔部会会長に直接お渡ししました。

今回の油流出事故を受け、漁協の皆様からは「東日本大震災から8年。懸命になってのり養殖を再興し、県内でののり生産量の約3割を七ヶ浜で採れるまでになったなか、非常に悔しい」との悲痛な想いが聞かれました。



しかし、皇室への献上のりの栄誉を競う「奉獻海苔品評会」にて、2018年、2019年と優賞に選ばれた七ヶ浜産のり養殖の誇りにかけて、来季(今年の秋ごろ)の再開に全力を尽くしたいとの力強い言葉もお聞きできました。

今回の皆様のご厚志が、七ヶ浜のり生産者の方々にとって、心の励みとなることを願い、また、再興の暁には「購入して応援」できるよう、引き続き情報発信させていただきます。

※2019年1月20日、仙台塩釜港に停泊中の貨物船から約1,000ℓの燃料用重油が漏れ出し、七ヶ浜で養殖中ののりや養殖施設に、流出した重油の一部が付着していることが確認されました。宮城県漁協七ヶ浜支所は、商品の安全性が確保できないとして、今季の生産を全面中止することとなりました。七ヶ浜にとって、特産品・誇りとなっているのり産業を、少しでも応援できればと、3月31日まで、募金の呼びかけをさせていただきました。

○きずなハウスで「やってみたい！」こと、叶えてみませんか？

かつて移動学び舎として活躍していたマイクロバス「きずな号」や大型炊き出し器「まかないくん」など、RSYには震災時に数多くの企業・団体様から、様々な資器材等の提供をしていただきました。

これらの物資を、未永く有効に活用させていただくため、昨年度から、町民の皆様による七ヶ浜の復興や交流につながるイベントに、無料で貸し出しを行っています。これまでに町外・県外の復興PRイベント、町内での震災学習や交流イベントにご利用いただきました。

また、企業様からの寄贈により、きずなハウスに設置されたピザ窯についても、今後、町民の皆様にご利用していただけることを目指し、昨秋には、子ども達と秋の味覚「焼き芋」づくりの企画を実施しました。

「七ヶ浜でこんなことをやってみたい!」、「七ヶ浜から何か発信したい!」との想いをお持ちの皆様、ぜひ素敵な企画をお聞かせください!



ホクホクの焼き芋に、ほくほくの笑顔

RSY 七ヶ浜の主な取組

4月

4月17日(水)

RSY 松田曜子理事の紹介で、アイスランドの方が来訪。東日本大震災で被災した七ヶ浜町住民の生の言葉を収録した冊子『被災者が一番伝えたいこと』(RSY発行)の英訳版を読み、「直接町民からお話を伺いたい」とのことで、冊子に寄稿いただいた方に直接インタビューもでき、グローバルで貴重な一日となりました。



4月24日(水)

・「のり養殖応援募金」お届け

5月の予定

5月3日(金)~5日(日)

11:00~、13:30~

・アートワークショップ

水にクレヨンで絵が描ける!? 不思議なアート体験してみませんか? きずなハウスで開催します!



インフォメーション

5月6日(月)9:30~13:00

・復興記念 花刈浜ウォークラリー

花刈浜地区避難所からスタートして、七のやまでの復興記念ウォークラリー。RSYも協賛させていただいています。記念植樹や餅まき、演奏会も行われます。

5月11日(土)10:00~

・代ヶ崎浜地区「こいのぼり・ふれあい広場」

代ヶ崎浜カメイ広場にて、のり簾飛ばしゲームやあさり汁の振る舞いがあります。青い空と海を背に、たくさんのこいのぼりがはためく様子は壮観です!

七ヶ浜みんなの家きずなハウス

〒985-0802 宮城県宮城郡七ヶ浜町吉田浜字野山 5-9
生涯学習センター敷地内

TEL: 090-9020-5887 / Mail: info@rsy-nagoya.com

運営: 認定NPO法人レスキューストックヤード

きずなハウス情報は
こちらから →
face book にて
「きずなハウス」で
ご検索ください。

